

週報①

広島市医師会臨床検査センター受託分 感染性胃腸炎検出状況

検出菌 ウイルス	2023年												2024年								
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月 ~2日	6月 ~9日	6月 ~16日	6月 ~23日
カンピロバクター	48	30	46	63	57	67	75	49	29	47	43	65	20	24	38	25	57	15	8	7	9
病原性大腸菌	47	37	55	103	120	108	102	56	52	49	80	102	43	61	105	92	79	13	15	14	14
腸管出血性大腸菌	1	1	4	1	0	1	0	1	1	0	0	0	0	3	1	0	1	0	1	0	1
サルモネラ	7	2	2	7	7	13	25	6	12	15	6	9	4	4	2	7	5	1	0	3	2
黄色ブドウ球菌 MSSA	15	10	13	14	21	8	12	15	18	21	18	16	6	4	16	4	12	4	1	2	2
黄色ブドウ球菌 MRSA	13	10	14	15	14	10	11	11	9	5	9	16	8	6	12	6	3	2	5	7	2
腸炎ビブリオ	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	1	1	2	0	0	4	8	2	1	0	2	0	0	0	0	0	1	0	1	0 (1)	1
ロタウイルス	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
アデノウイルス	0	0	1	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
ノロウイルス	14	11	6	1	1	0	0	0	0	0	0	4	9	20	10	3	4	0	0	0	0

()は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。
*その他は、アエロモナスでした。

週報②

広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC) 感染症週報

令和6年第25週(6月17日~6月23日)

2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	10	結核	10	1				8	1	
三類	0	発生なし	0							
四類	2	日本紅斑熱	2							2
五類	12	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	2					1		1
		劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1					1		
		侵襲性肺炎球菌感染症	2						1	1
		水痘(入院例)	2			1			1	
		梅毒	5					5		

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市 西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町 北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcda/>

■コメント

1 手足口病

定点当たり11.41人の報告があり、前週の約1.3倍に増加しました。手洗いの励行、オムツの適切な処理、タオルの共用を避けるなど、感染予防対策を心がけましょう。

2 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)

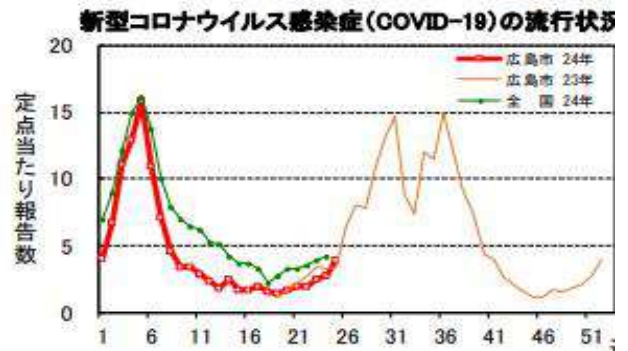
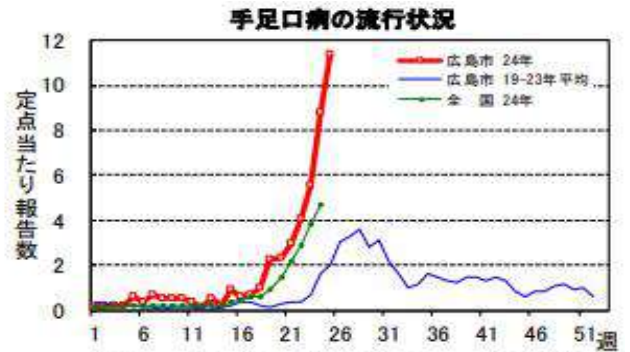
定点当たり3.91人の報告があり、前週の約1.5倍に増加しました。今年も昨年と同様に、6月下旬から増加が加速しており、今後注意が必要です。手洗い、換気、効果的な場面でのマスク着用など、基本的な感染予防対策に取り組みましょう。

3 咽頭結膜熱

定点当たり0.95人の報告があり、前週に引き続き多い状況です。手洗いの励行、タオルの共用を避けるなど、感染予防対策を心がけましょう。

4 ヘルパンギーナ

定点当たり1.45人の報告があり、前週の約1.4倍に増加しました。手洗いの励行、オムツの適切な処理など、感染予防対策を心がけましょう。



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注)	過去5年間	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注)	過去5年間	発生記号
インフル	インフルエンザ	6	0.17	0.24			小児科	ヘルパンギーナ	32	1.45	0.95		
	新型コロナ(COVID-19)	137	3.91					流行性耳下腺炎	-	-	0.10		
小児科	RSウイルス感染症	23	1.05	1.30			眼科	急性出血性結膜炎	-	-	-		
	咽頭結膜熱	21	0.95	0.53				流行性角結膜炎	4	0.50	0.35		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	77	3.50	1.43			基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-		
	感染性胃腸炎	110	5.00	4.30				無菌性髄膜炎	-	-	0.03		
	水痘	4	0.18	0.15				マイコプラズマ肺炎	1	0.14	0.03		
	手足口病	251	11.41	2.01				クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-		
	伝染性紅斑	-	-	0.12				感染性胃腸炎(ロタウイルス)	2	0.29	-		
	突発性発しん	9	0.41	0.40									

急増減 ↑ ↓ 前週と比較しておおむね 1:2以上の増減

増減 ↗ ↘ 前週と比較しておおむね 1:1.5~2の増減

微増減 ↖ ↙ 前週と比較しておおむね 1:1.1~1.5の増減

横ばい ⇔ ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ/COVID-19定点数(小児科定点を含む)	35
小児科定点数	22
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	8	55	10歳代・推定感染地域: 国外・1人、20歳代・推定感染地域: 国外・1人、50歳代・1人、70歳代・1人、80歳代・4人
5	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1	3	80歳代
5	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	15	90歳代
5	梅毒	5	69	20歳代・2人、30歳代・2人、50歳代・1人